

中長期目標 (学校ビジョン)	技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。	今年度の重点目標 1. 基礎学力の向上 2. 豊かな人間性の育成 3. キャリア教育の充実と生徒の進路実現
-------------------	--	--

評価項目		年度当初		評価結果()月				
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策	
1	基礎学力の向上	① 授業改善と学力の定着	<p>【授業評価アンケート結果及び活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生徒の授業満足度は概ね良好 ◇学習状況や理解度向上傾向 ◇授業改善に活用 ◇研修会の情報を共有 <p>【基礎力診断テスト結果及び課題】 ◇基礎力不足層の減少傾向 ◇意欲喚起に課題</p> <p>【全国工業高校校長会主催標準テスト結果】 ◇成績向上に課題</p> <p>【「5S」、「あさひ」の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全体的には定着 ◇授業前の着席・挨拶は改善 ◇授業前の教材準備の徹底に課題 <p>【公開授業】 ◇多くの教科で実施の状況に課題</p> <p>【学習環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ロッカー内、上の整備向上 ◇授業前の着席・挨拶改善 ◇教科書等の準備に課題 	<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導の研究と授業改善 ・ICT活用によるわかりやすい授業づくり ・生徒の意見を引き出す問いかけ ・コミュニケーション能力が向上する指導 <p>【基礎的学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(工業科)専門教育へ対応できる基礎的な数学力の育成 ・生徒個々の能力の伸長 <p>【学習環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習習慣の確立(「5S」・「あさひ」の徹底) 	<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力向上委員会を中心に具体的な取り組みの提案 ○プレゼン等を活用した授業の増加 ○ペア学習やグループ学習の実施 ○各種研修会への参加及び内容の共有 <p>【基礎学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(工業科)数学基礎演習(1年生)の実施と傾向の把握放課後補習 ○個別指導の充実・課題、小テストの実施 <p>【学習環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室美化・授業開始前の学習準備・着席・挨拶の徹底・提出物期限厳守の徹底 			
		② 主体的な学習態度と実践力の育成	<p>【進路行事等の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇適宜、担任・教科担任で面談・声かけ等を実施 ◇生徒の進路目標の早期設定に課題 <p>【生徒の学習状況(自宅学習調査結果等より)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇概ね昨年度より学習時間が増加。 ◇一部の科で学習スペースを開放(学校での自主学習) ◇課題提出等期限厳守に課題 <p>【シラバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇評価基準・方法を周知 	<p>【学習意欲の喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分掌・教科の諸活動を通して生徒の学習意欲を喚起 ・進路・学習目標の確立を支援し、自宅学習の習慣化を促進 ・学習規律の確立 	<p>【学習意欲の喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用と面談の実施 ○シラバスの活用・課題テストの実施・自宅学習調査(年2回)の実施と分析 ○教室美化・授業開始前の学習準備・着席・挨拶の徹底 			
2	豊かな人間性の育成	① 互いを尊重する態度と社会性の涵養	<p>【性教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇WYSH教育 全教職員で理解深化 <p>【ハイパーQU】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇職員研修で、全職員に周知 ◇LHR・面談等に結果を活用 <p>【いじめアンケートの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題に早期に対応 各教科でも人権教育を推進 生徒が相談しやすい環境の整備に課題 <p>【人権教育校外研修「一人一研修」】 ◇情報をもとに速やかに対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇一人一研修の取り組みが不十分 	<p>【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己肯定感・自己受容感の向上 ・共に認め合い、互いの個性を尊重しあえる人間関係の構築 <p>【人権教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修を通じた自己の振り返り ・教職員間連携、関係機関との連携による問題の早期対応 	<p>【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権教育・性教育LHRの充実、人権意識の高揚、他者の人権・存在を尊重する態度の育成 ○性教育LHR、WYSH教育LHR(1年生)の実践 ○ハイパーQUアンケートの分析・活用、生徒理解、クラスの目標の設定、集団規律の形成 <p>【人権教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一研修の徹底、校外の人権教育研修への自発的参加の呼びかけ ○生徒情報の把握、いじめアンケートの活用 ○専門機関との連携、各学年・各分掌の連携、密な情報交換 			
		② 健全な心身と社会貢献精神の育成	<p>【基本的生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇指導を徹底 「5S」、「あさひ」は概ね定着 ◇挨拶、遅刻は改善傾向 <p>【ボランティア活動】 ◇活発化(H25年度:テクノボランティア12名、砂丘ボランティア50名、とっとりサイエンスワールド46名、県社協主催ボランティア14名、児童福祉施設ボランティア4名等)</p> <p>【部活動、生徒会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各種活動(高校生マナーアップさわやか運動、万引き防止広報活動、中庭の花植え、校内美化、携帯・インターネットを考えるフォーラム等)に参加 <p>【環境改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇校内環境整備(花木の剪定と除草)へ保護者・生徒が多数参加 <p>【安全教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全職員による朝の交通指導実施 交通安全教室を実施 実験・実習器具等の取り扱い指導の徹底 ◇SNS等の取り扱い問題に対応 校内での携帯電話の取り扱いに課題 	<p>【基本的生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら挨拶ができる生徒の育成 <p>【ボランティア活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての自覚思いやりの心を育成 <p>【部活動や生徒会活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種活動への参加意識向上 <p>【環境改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境改善の意識向上、取り組み強化 <p>【安全教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールの順守意識の向上 ・携帯電話ルールの順守 	<p>【基本的生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「5S」・「あさひ」の徹底、日々の授業や学校行事を通して啓発 <p>【ボランティア活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テクノボランティア・家庭クラブ活動の推進、参加の呼びかけ <p>【部活動や生徒会活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各クラス役員の活動の活性化 <p>【環境改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○TEAS講演会、環境LHR等の実施 ○ごみの分別、節電・節水の取り組み強化、啓発活動の充実 <p>【安全教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通安全教室、薬物乱用防止教室の開催 ○携帯電話マナー講習の開催 			
3	キャリア教育の充実と生徒の進路実現	① 専門的な知識・技術の習得	<p>【「工業技術基礎」(共通実習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇事前指導時間を充分確保(昨年度比3倍) ◇時間厳守は改善 意義理解度は向上 ◇レポート内容が充実 <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇(工業) 計算技術検定合格126/148名(85.1%(昨年84.8%),若干上昇) 危険物取扱者乙4合格11/90名(12.2%(31.3%),大幅下降) 初級CAD検定合格14/37名(37.8%(39.5%),若干下降)等 (その他)漢検・英検・数検等の資格試験を奨励 対策補習や模擬テストを実施 改善点→漢検:2級合格2名,昨年度0名 英検:受験者増 <p>◇企業見学会 (企業19社,短期大学1校,4年制大1校,建設現場7件,施設見学2件,昨年度同様)</p> <p>鳥工版デュアルシステム (機械科2名,電気科6名,協力企業数4社,昨年度比7名減,1社減)</p> <p>インターンシップ事前打ち合わせが充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇3S(整理・整頓・清掃)は改善傾向。 ◇実習・課題研究を中心に、「ものづくり」マインドの育成を推進 県高校生ものづくりコンテスト優勝(電気工事部門,電子回路組立部門,本年度中国大会出場) 	<p>【「工業技術基礎」(共通実習)の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート、作品等の提出期限厳守 ・レポートの書き方と内容の充実 <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一資格・検定の取得 ・専門知識や技術・技能の習得 ・「守ることを決めて、決めたことを守る」 ・ものづくり精神の継承 	<p>【「工業技術基礎」(共通実習)の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的な提出状況確認と提出遅れ指導の実施 ○担当者によるレポート内容に関するコメントの記入 ○再提出指導の実施 <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資格・検定ガイドブックの作成と取得指導への活用 ○早朝、放課後補習の実施 ○早期受験案内の実施 ○体験活動の充実 ○鳥工版デュアルシステム、企業見学会、インターンシップ、社会人講師による授業等の実施 ・事前指導の実施と徹底 ○「5S」、「あさひ」活動の充実 ・実技を伴う授業終了時の整理・整頓・清掃活動の実施 ・各事業毎での事前指導の実施と徹底 ○ものづくり活動の強化 ・人材の確保 ・先輩から後輩への技能の継承 			
		② 職業意識の育成と進路指導の徹底	<p>【職業意識の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇社会人としてのマナーや進路意識の向上 ◇社会人講師事業は効果大 ◇関西研修旅行 生徒の進路意識向上 <p>【進路指導の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇進学補習実施 ○ハローワークや進路支援企業と連携 ○個別指導(履歴書指導等)が充実 ◇内定率99% ◇1・2年で進路目標設定面接指導の強化が必要 面接指導を徹底 ◇基本的生活習慣指導を強化 状況は改善中 一層徹底が必要 ◇進路ガイダンスを実施 欠席者が多く参加人数が激減 ◇模擬面接会を実施 模擬面接会実施 	<p>【職業意識の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業と連携した活動及び校内外の進路行事等を通じて職業観、勤労意識の向上 <p>【進路指導の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職は一回目の選考試験合格率70%以上、進学は10名以上の国公立大学合格 ・生徒の進路を保障するために学力及びコミュニケーション能力の向上 	<p>【職業意識の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ、企業見学会、研修旅行、応募前見学会、社会人講師等を実施 ○ハローワーク、進路支援企業等と連携した進路ガイダンスなどの進路行事を開催 <p>【進路指導の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進学補習、個別指導、作文指導等を実施し、学力向上 ○外部模試の結果から対策を考え指導法等に活用 ○進学対策会議を開催し、より生徒に適した進学先を提案 ○ハローワークなどの協力を得て、面接指導を実施 ○個別進路面接を2年の3学期から開始 ○10人面接、各科の面接指導、担任面接をより充実 ○進路希望調査を2回から3回に増やし、懇談等での活用を促進 			
		③ 地域や産業界との連携強化	<p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各事業の効果大 ◇企業との連携を強化 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇津ノ井地域へPTAだより配布 ◇学校HPの充実 ◇とっとり産業フェスティバルやマスコミへ情報提供 ◇科の内容を中学生へアピール(中学生体験入学や鳥工TEC等) ◇学校情報サイト「まちCOMIメール」が浸透 <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各行事を通して、地域との連携を強化 <p>【PTA活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇保護者との積極的な連携 各PTA活動が充実 ◇学校祭や体育祭等への保護者参加大幅増 	<p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業が求める人材や地域産業の担い手の育成 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や小学校・中学校等との交流と積極的な情報発信 <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種事業を通じて地域と連携した貢献活動の実施 <p>【PTA活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動への理解の深化 	<p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業見学会、インターンシップや鳥工版デュアルシステムなどを通じて企業ニーズに応える人材育成 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出前授業やテクノボランティアの実施や、HP等での情報発信 ○まちこみメールの活用により学校行事の保護者参加増の促進 <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テクノボランティアや桜ヶ丘グリーンゾーン活動等の貢献活動の充実 ○津ノ井地域懇談会を通じて地域とより一層の交流 <p>【PTA活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各事業への保護者の参加増によりPTA活動の活性化 			

注) 5S:整理・整頓・清掃・清潔・躰 あさひ:挨拶・作法・人の話を聞く
WYSH教育:性に関する教育
ハイパーQUアンケート:よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート
デュアルシステム:学校の授業と並行して企業で学習するシステム